

『Lines of Sight ~それぞれのアジアへの視線~』

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「股旅—gdeh special—」

*Lines of sight*

～それぞれのアジアへの視線～



山田 直佑  
1985年栃木県生まれ。祖父母に多大な影響を受けながら育つ。蓮の原健児の気持ちを今でも忘れない。日本写真芸術専門学校助手を経て、現在大学院生兼任フリーランス。

## ● 最近のエントリー

- 「なんとなく」  
(2010.03.08)
- Tokyo days 2010  
(2010.03.02)

## ● アーカイブ

- Oktober 2012
- März 2011
- September 2010
- August 2010
- März 2010
- Februar 2010
- März 2009
- Februar 2009
- November 2008
- Oktober 2008
- September 2008
- Juli 2008
- Juni 2008
- April 2008
- Januar 2008
- Dezember 2007
- November 2007
- Juli 2007
- Mai 2007
- April 2007
- März 2007
- Februar 2007
- Januar 2007
- Dezember 2006
- November 2006
- Oktober 2006
- September 2006
- August 2006
- Juli 2006
- Juni 2006
- Mai 2006
- April 2006
- März 2006

## ● 投稿カレンダー

- カテゴリー一覧
- countries report

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

10.03.08

設施—gdeh special— &gt; März 2010 アーカイブ

[Tweet](#)[Check](#)

最近、「なんとなく」という言葉を考えている。  
意味は「特に理由もなく」という感じなんだろうけれど、その「なんとなく」という感覚はいつたいどういうもので、その感覚に基づいて写真を撮るっていうのは、どういう感じなんだろ、と疑問に思っている。



先日、車を飛ばして、夜中の三時頃に静岡市に入った。たいした目的があったわけじゃないけれど、でもこれも撮影したい、って思う場所があったからだ。でも、それを調べて行ったはいいけれど、見つけることができず、時間と体力の残り具合から、明け方には引き返す形になった。  
その車中ずっと考えていたのも「なんとなく」についてで、ふと、ここ半年、撮影に行く時は車で行くことが多かったことを思った。それも一人で行くよりも誰かを乗せて行くことが多いかった。  
しゃべっていれば居眠り運転はしないし、緊張感も違って、その方がいい、と思っていた。  
でも、こんなに運転中に考え事をしていたのは初めてで、それだけ運転に余裕が出てきたのかと

いえばそうでもなく、ただ単に、一人で撮影地を探している、という状況に身を置こうとしてこなかっただけだと気づいた。  
愕然とした。  
今までの撮影の中で、「シャッターを切る」と「シャッターを切る」の間の時間は何かしら考えていたし、その何かしらの大部分はその撮っている写真についてだった。  
テーマや方向性を「咀嚼する」というのは、何度も考え、何度も吟味し、何度も疑い、何度も迷い、何度も頷いて、何度も考え…の繰り返しだった。  
それが抜け落ちていたんだ、と思った。



今、新しく見つけたきっかけをつなぐように、写真を撮りに歩いている。でも、これは元々ある風景を探しに行く旅みたいなもので、発見、というより、探索に近い。考えれば今までそうだった。

それが楽しい。

「なんとなく」で写真を撮りに行けないから、こうなんだろうけれど、僕の写真をつなぐのはこんなことなんだろうな、と感じた。

明日もまた、カメラを担いで都内へ出てみます。

カテゴリ :

post by 山市 直佑 | 日時: 2010.03.08 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

設施—gdeh\_special— > März 2010 アーカイブ

10.03.02

## Tokyo days 2010

[Tweet](#)

[Check](#)



そろそろ5期生も出発、という時期に、地味にブログ更新を開始して、  
2回目。

3月1日、昨日は先生と話した中で出てきた街を、35のカメラ持ってぶらついてきました。約3時間。行って良かった。今週末に時間を作って必ず行きたい。もう一度。

迷いよりも行動。その話を最初に先生にされたのは僕が専門1年生の時。2回目にされたのがついこの間。成長しているようで何も変わってない自分に苦笑い。進んでるつもりが、でも、そうやってぐるぐる回って、同じ場所に帰ってきたとしても、少し違っているから、やっぱり違うんだって思える。

迷って、何も撮れなくなった時程、今はシャッターを切るようにしている。



口ケハンという名の徘徊を終えた後、渋谷の学校に立ち寄って小用を済ませ廊下でギャラリー案内を見ていたとき、402教室から明らかに「奥だ」ってわかる笑い声が聞こえて、出てきた人を見たらやっぱり奥だった。そのまま流れで一緒に東横線に乗って、菊名でご飯を食べに行こうと、ファミレスに入りかけたとき、奥が「君島さんとここで前に食べた」的な発言をしたので、君島に電話をして、珍しい3人組がそろった。



先生曰く「しみったれトリオ」。  
それからひと時、話が盛り上がった後、約2時間後かな？お開きになって、帰り道、この間書いたばかりのことを思い出し、やっぱりNPIにはちょくちょく行くべきなのかなと感じた。

カテゴリ：

post by 山市 直佑 | 日時: 2010.03.02 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)